

2021年3月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2020年12月、2021年1月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる
長野県内景気	厳しい状況が続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる
12月の生産動向	生産は持ち直している
1月の個人消費	乗用車新車販売は4カ月連続で前年を上回る
1月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を上回る
1月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を上回る
1月の雇用情勢	有効求人倍率は5カ月連続で前月を上回る
今後は、新型コロナによる所得・雇用環境への影響と、個人消費の動向を注視する必要がある	

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

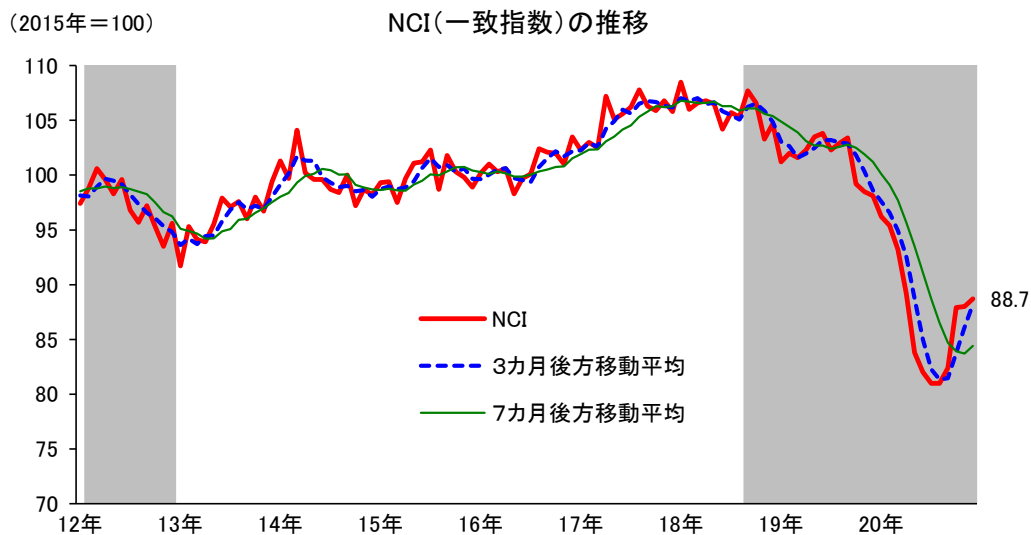
担当 桑井、中村(亮)

電話 026-224-0501

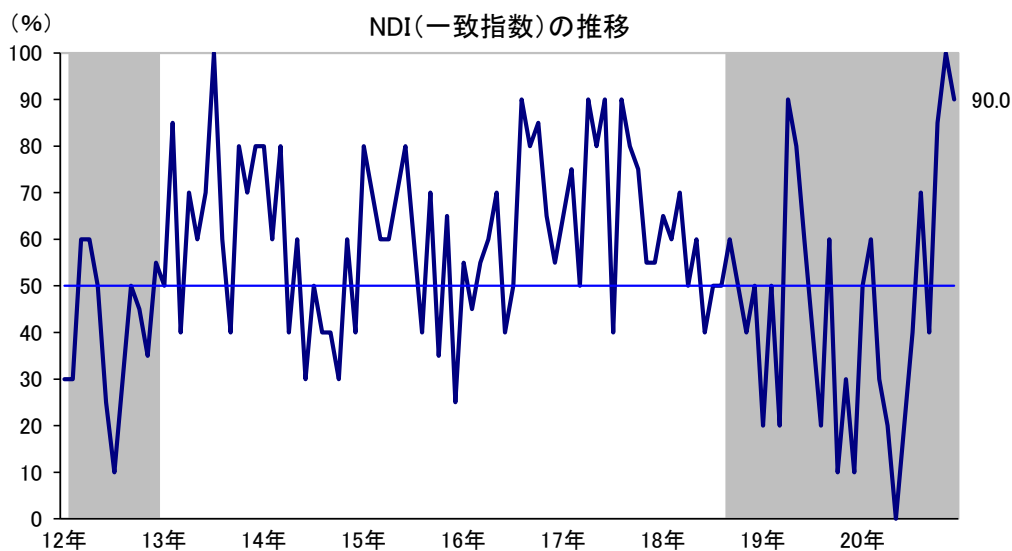


景気動向指数

- ・12月のNCI(一致指数)は、88.7と前月と比較し+0.7ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+2.1ポイントと4カ月連続で上昇した。7カ月後方移動平均は同+0.7ポイントと15カ月ぶりに上昇した。NCI(一致指数)は、下げ止まりを示している。
- ・NDI(一致指数)は90.0%となり、3カ月連続で景気判断の分かれ目となる50.0%を上回った。



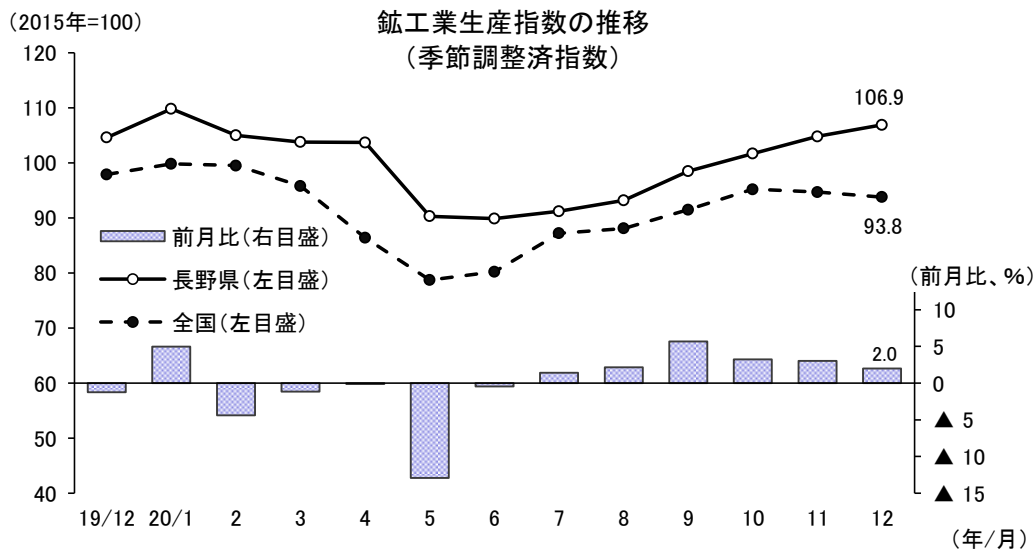
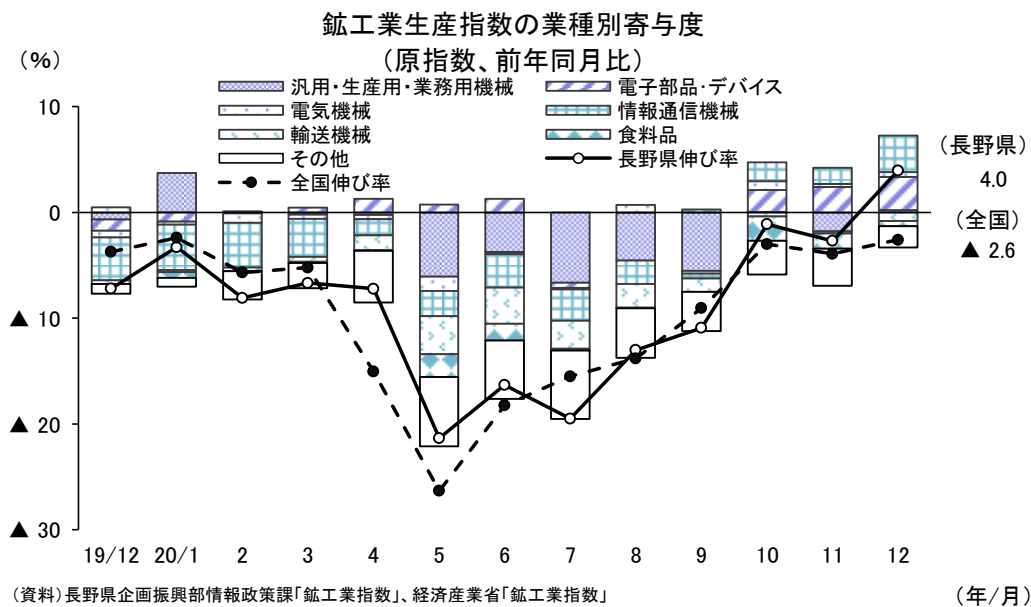
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

生産は持ち直している

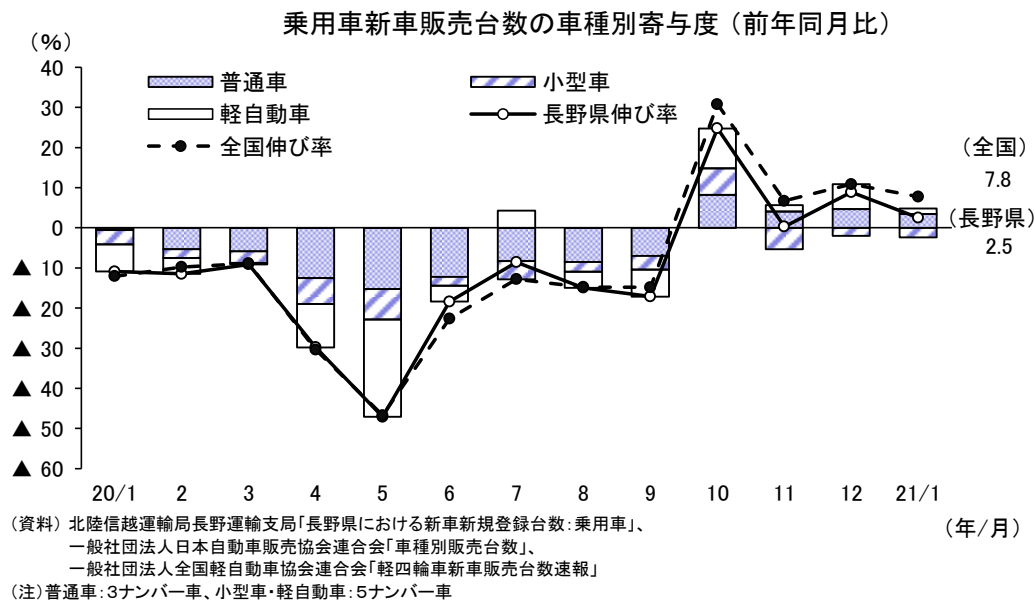
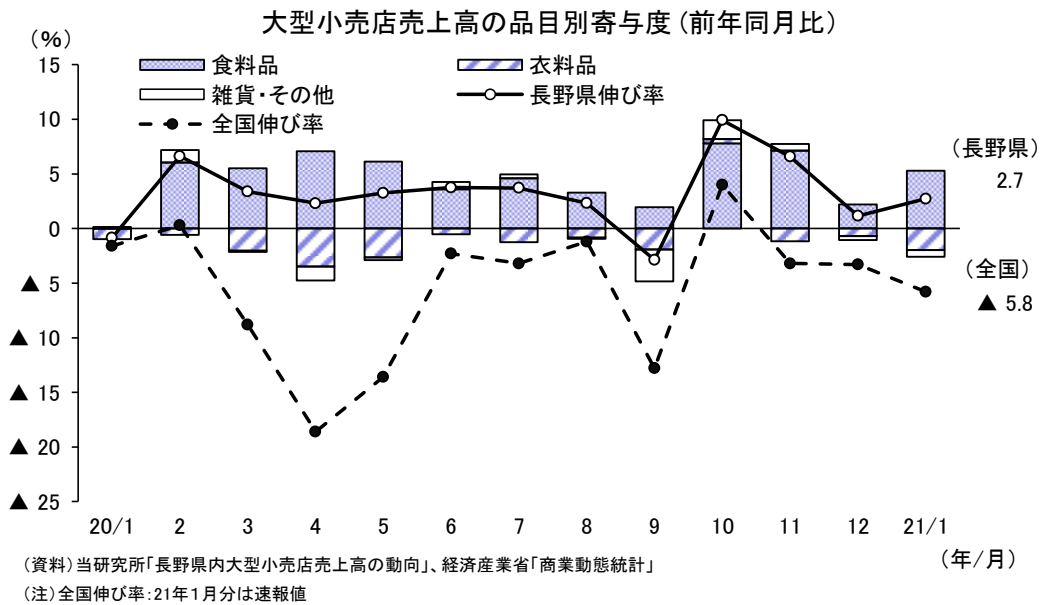
- ・12月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+4.0%、季節調整済指数は前月比+2.0%となった。
- ・原指数は17カ月ぶりに前年を上回り、季節調整済指数も6カ月連続で前月を上回った。中国を中心とした外需の回復により、生産は持ち直している。
- ・主要業種別にみると、自動車部品等の「輸送用機械」や飲料等の「食料品」などは前年を下回ったものの、電子部品等の「電子部品・デバイス」や、民生用電子機械等の「情報通信機械」などは前年を上回った。



個人消費

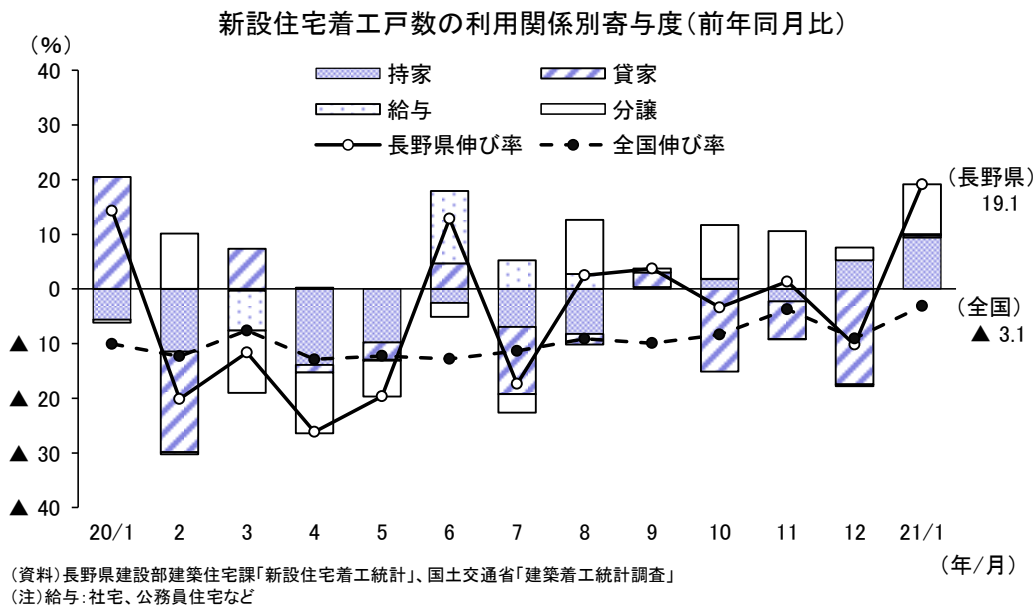
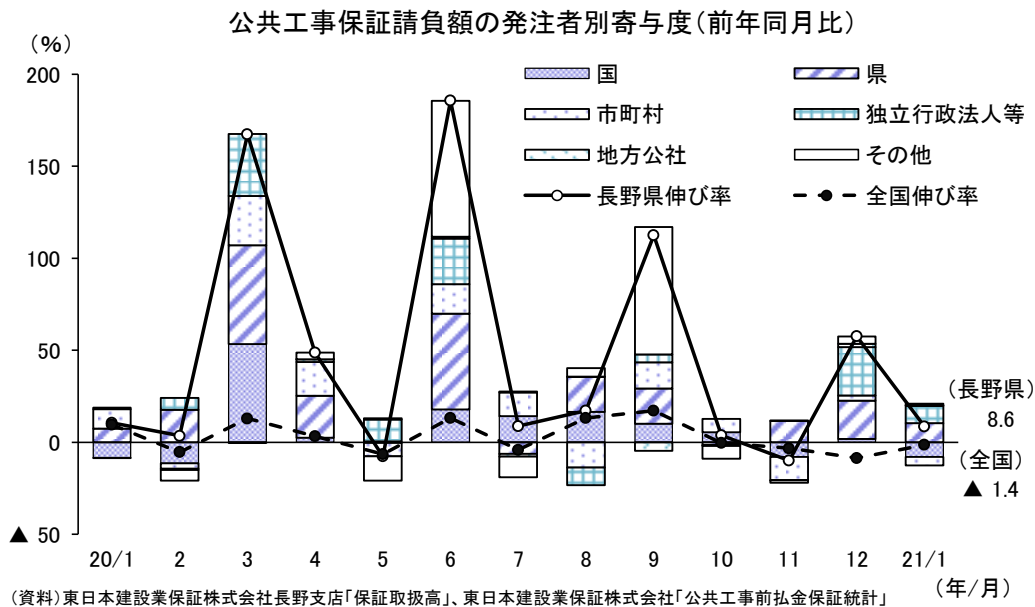
乗用車新車販売は4カ月連続で前年を上回る

- 1月の大型小売店売上高は、前年同月比+2.7%（売場面積調整前）となり、4カ月連続で前年を上回った。食料品は、新型コロナ感染防止のための内食需要が増加し、売り上げは同+6.5%となった。衣料品は、外出控えなどによる来店客数の減少に加え、初売りなどのセールが振るわず、同△26.0%だった。雑貨・その他は、化粧品などが低調で同△5.3%だった。
- 1月の乗用車新車販売は、前年同月比+2.5%と4カ月連続で前年を上回った。人気のSUVが好調だった普通車（同+11.4%）や、軽自動車（同+3.2%）は4カ月連続で前年を上回ったが、小型車（同△9.0%）は3カ月連続で前年を下回った。



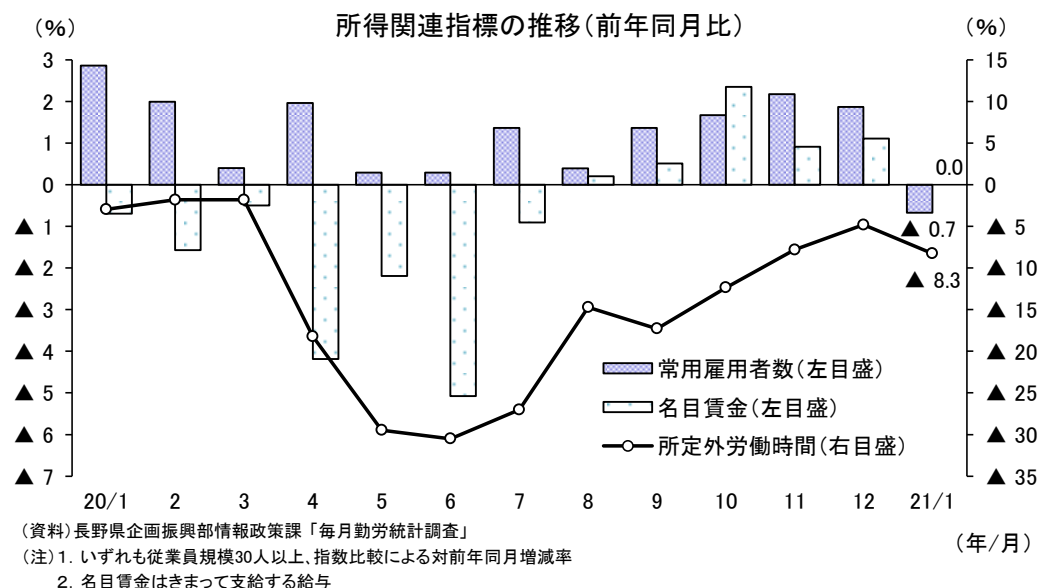
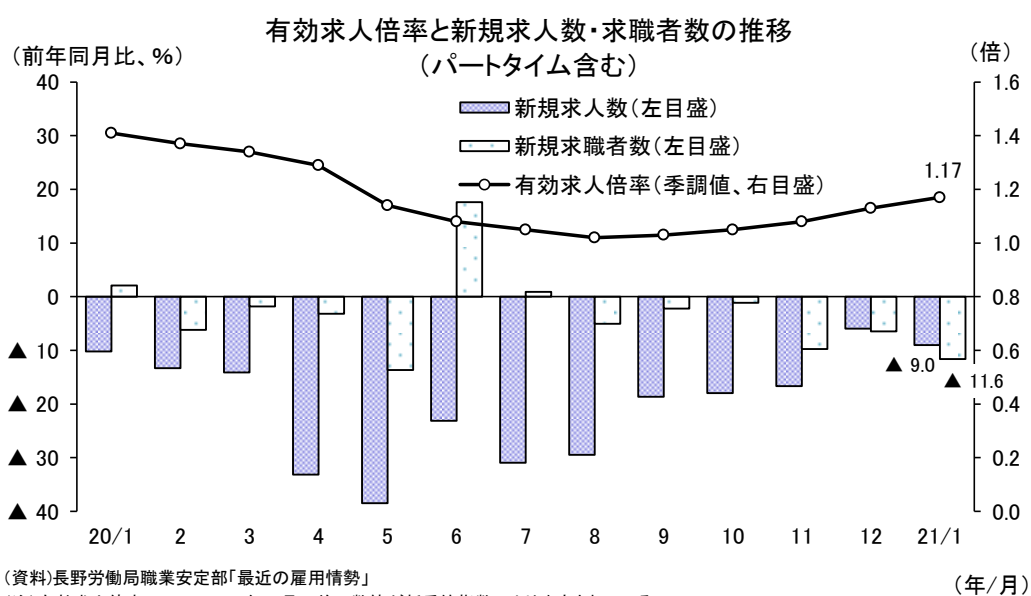
公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を上回る

- ・1月の公共工事保証請負額は、前年同月比+8.6%の91億9,700万円となり、2カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、国が同△64.6%、市町村が同△10.2%と減少したが、県が同+26.3%、独立行政法人等が同+905.0%、その他が同+58.5%と増加した。
- ・1月の新設住宅着工戸数は971戸で、前年同月比+19.1%と2カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同+19.6%、貸家が同+0.9%、分譲が同+69.8%など全て増加した。



有効求人倍率は5カ月連続で前月を上回る

- ・1月の有効求人倍率は前月比+0.04ポイントの1.17倍と、5カ月連続で前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△9.0%となり、23カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△2.5%、パートは同△19.0%となった。産業別では、建設業が同+29.3%と前年を上回ったものの、宿泊業・飲食サービス業が同△50.9%、卸売業・小売業が同△10.0%などと前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△11.6%と6カ月連続で前年を下回った。
- ・所定外労働時間は前年同月比△8.3%と25カ月連続で前年を下回り、常用労働者数も同△0.7%と13カ月ぶりに前年を下回った。一方、名目賃金は前年同月と同水準だった。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は4カ月連続で全国を上回る

- 1月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.33ポイントの1.34倍、東信が同△0.11ポイントの1.41倍、中信が同△0.23ポイントの1.19倍、南信が同△0.22ポイントの1.17倍となった。17カ月連続で全ての地域で前年を下回った。
- 職業安定所別有効求人倍率(全数)は、全ての職業安定所が前年を下回ったが、2カ月連続で1倍を上回った。
- 長野県の有効求人倍率は4カ月連続で全国を上回り、順位は19位であった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(21年1月)

地域	北 信(1.34) (前年同月比▲0.33)				東 信(1.41) (前年同月比▲0.11)		中 信(1.19) (前年同月比▲0.23)			南 信(1.17) (前年同月比▲0.22)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.47	1.25	1.14	1.24	1.33	1.48	1.19	1.61	1.02	1.24	1.07	1.18
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.38	▲ 0.09	▲ 0.65	▲ 0.26	▲ 0.14	▲ 0.08	▲ 0.20	▲ 0.26	▲ 0.46	▲ 0.19	▲ 0.26	▲ 0.22
うち常用	1.33	1.22	0.97	1.18	1.08	1.58	1.07	1.56	0.99	1.15	0.96	1.12
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.36	▲ 0.09	▲ 0.60	▲ 0.21	▲ 0.22	▲ 0.10	▲ 0.19	▲ 0.36	▲ 0.31	▲ 0.18	▲ 0.26	▲ 0.27

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

